

巻 頭 言

取締役兼常務執行役員
技術本部長

吉松 哲夫



日本経済は、雇用・所得環境の改善、高水準の企業収益、個人消費の持ち直し、設備投資の増加など、堅調な内需に支えられ、緩やかな回復が続いております。一方で、米中の通商問題、中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方などによる経済動向の不確実性、消費税率引き上げ後の消費者マインドの動向などには引き続き注視が必要な状況であります。

そのような中、政府は昨年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」において、革新的ビジネスを促す規制・制度の構築、研究の人材・資金・環境の改革と大学改革の一体的な展開による基礎研究力の更なる強化と挑戦的な研究開発の推進など、「Society 5.0」実現の加速および「第4次産業革命」の先端技術の普及による生産性の向上を図るための目標・取り組みを掲げております。

弊社は、今年4月には2018年度からスタートした中期経営計画の最終年度を迎える中、外部環境の大きな変化を踏まえた事業構造の変革、成長する産業分野での拡大、既存事業の維持・拡大を図り、付加価値・生産性の向上を実現するための取り組みを進めております。

本号では、これまでの取り組みの一端として、歯車装置の状態診断に関する研究、設備の維持更新に向けた溶接・補修技術開発の成果、地域冷暖房施設の電気工事の施工事例などを掲載しております。また、特集として、弊社が従来培ってきたエンジニアリングおよびメンテナンス技術とBIMやIoTを組み合わせた取り組みを紹介しております。

是非、これらの論文・報告をご高覧頂きまして、皆様の忌憚のないご意見・ご批評を頂ければ、誠に幸甚でございます。

今後とも皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。